

# タイ

ASEANの中心的存在としてますます成長が期待される国、タイ。  
 アジア経済圏における生産拠点、世界市場に向けた輸出拠点として注目されています。

## ■ タイの食

タイは米が主食になります。味付けに香辛料を多用しますがマイルドな味のものも多く、日本の味覚に近いものがあります。

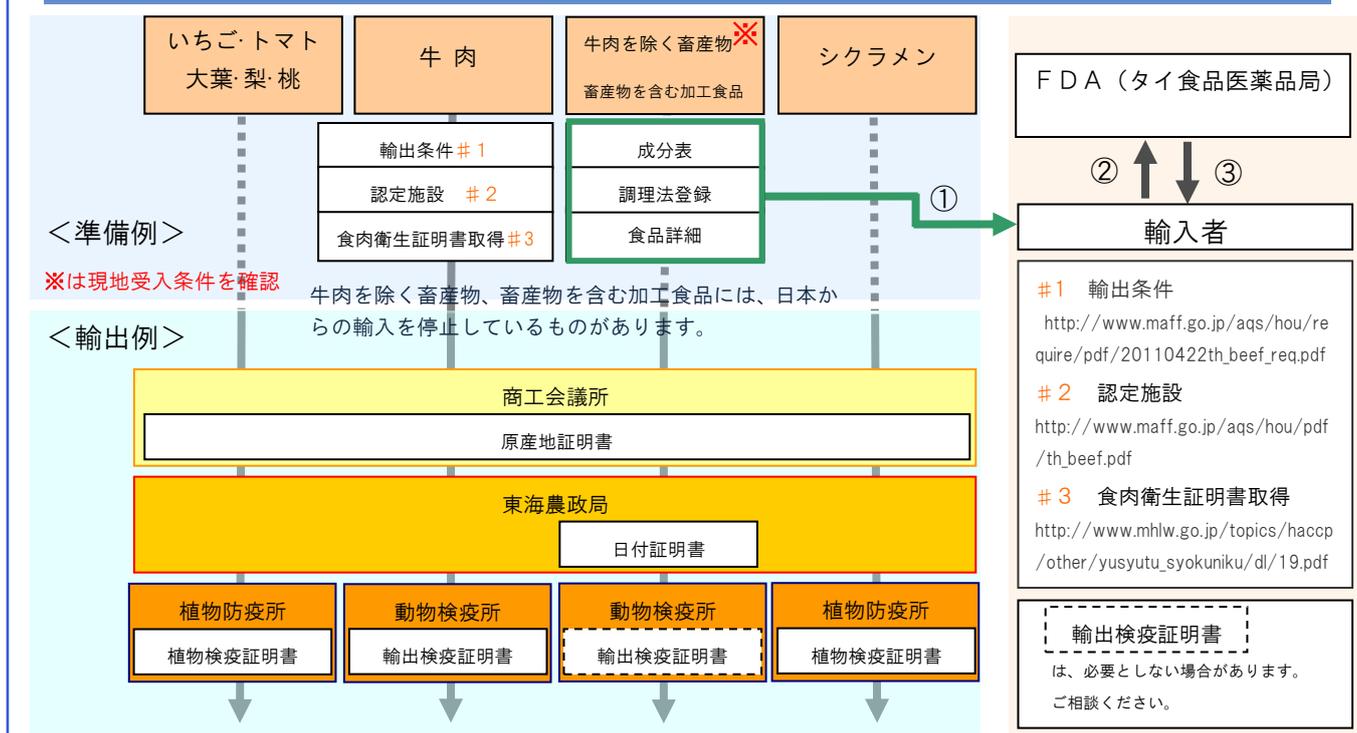
最近では、日本食に対する人気も、富裕層から中間層へ広がっています。

魚や肉等は品質にこだわりがあり、生産地への関心も高いため、日本産の高級食材にも人気があります。肉は特に脂肪分の多いものが好まれます。

タイの日本食レストランの数は約2,300店。そのうち1,700店はバンコクに出店しています。バンコクの人々は外出することを好み、日常的にレストランで食事をするのが多くあります。バンコクは人口密度の高い国際都市で、観光客も多く世界からホテル、レストランが進出してきています。ここには世界の食材が集まっています。



### タイへ輸出を実現させるためには、こうした準備が必要です！



現地レポート

バンコクの今

バンコクには日本食レストランが数多くある。日本食レストランはタイ人による現地経営がほとんどである。日本食は富裕層のみならず中間層にも人気である。特に産地にこだわった魚や果物は高くてもよく売れている。

タイ人の平均年齢は34歳と比較的若い。失業率が0.5%とかなり低く、政治不安はあっても先行きの経済不安はなく、所得が貯蓄よりも消費に回っているようである。

百貨店やスーパーで、日本の生鮮品や加工食品を扱う店は増えている。日本の食品は、現地の食品と比べると、かなり高い価格となるが、食材として高級な肉や魚、果物の引き合いが強い。

日本食レストランへ新たな日本食材をPRするためには、百貨店やスーパーでのテスト販売等で消費者へ直接ブランドを浸透させるなど、店舗で宣伝しながらレストランなどの販路を開拓していくという流通戦略が有効のようである。



現地スーパーでも日本の生鮮品が売られ始めている。



日本食を扱うレストランが多く出店している。



「タイの寿司」

人口 (2013年)	約6,701万人 (バンコク570.5万人)
言語 (2013年)	タイ語(公用語)各地によって方言がある 英語
宗教 (2013年)	仏教 93.8% イスラム教 4.6% キリスト教 0.8% ヒンドゥー教など
通貨	バーツ
国民総所得 GNI (2013年)	国民総所得 3,083億ドル(米ドル) 一人当たり国民総所得4,440ドル(米ドル) うち食費に占める割合24.8% (2009年)
在留邦人数(2013年)	約5万人
日系現地法人数 (2013年4月)	1,485社 バンコク日本人商工会議所会員数
車普及率 (2011年)	乗用車 14.3% 二輪車 71.6%
耐久消費財普及率 (2011年)	冷蔵庫 89.2% 電子レンジ 62.9%